

市政トピックス

「城の山古墳発掘指導委員会」を開催!



城の山古墳

市教育委員会では、大塚地内の「城の山古墳」(通称…ひとかご山)の発掘調査を5月から実施してきましたが、このたび国史跡級の重要な遺跡であることが判明し、今後の保存活用に向けて、有識者からなる「城の山古墳発掘指導委員会」を8月1日に立ち上

げました。委員は、橋本博文新潟大学教授(委員長)、辻秀人東北学院大学教授、石川日出志明治大学教授、三ツ井朋子(財)新潟県埋蔵文化財調査事業団班長の4名。調査の進め方とよりよい保存方法について、県教育庁担当者を交えて議論・指

導をいただいたほか、現地指導もしていただき、今後の道筋をつけることができると期待しました。



現地指導

中国との交流促進に向けて 吉田市長が中国総領事館を訪問

7月27日、万代島ビル(新潟市中央区)に開設された「新潟中国総領事館」を吉田市長が訪問し、王華総領事と会談を行いました。



在新潟中国総領事館の王華総領事と会談を行う吉田市長

これは昨年、吉田市長が訪中したことをきっかけに、友好交流を推進したいとの考えから、日中友好交流の会胎内支部長の熊倉信夫氏とともに表敬訪問したものです。

王総領事は、友好交流には「主面的に協力をしたい」とした上で、自らも「胎内市を訪ねてみたい」と話し、吉田市長も「交流できる環境を整えるため、再度訪中したい」と今後の交流に意欲を示しました。

市としては、交流候補として挙げられている2つの都市のうち、特に新潟県との結びつきが深い黒竜江省の綏化市を交流相手として、今後協議を進めたいと考えています。

「ミラバケツンの森づくり活動」を推進(株)クラレ新潟事業所



(左から) 株式会社クラレ新潟事業所・長友事業所長、吉田市長、(立会人) 新潟地域振興局・藤巻局長

ります。

整備内容は今後5か年でロイヤル胎内パークホテルに隣接する雑木林0・5ヘクタールの整備と胎内平の草地0・5ヘクタールにナラの植栽を行う予定です。初めての作業となった7

月の31日、従業員とその家族ら約50名が雑木林内の下草の刈り払いと低木をのこぎり等で伐採し、林内に光や風が入り込む健康な森づくりに汗を流しました。約2時間の作業で

森は見通しが良くなり、見違える状態になりました。今後、観光客等が気軽に林内を散策できる森「ミラバケツンの森」を目指します。*「ミラバケツン」とは、(株)クラレの企業イメージを表す造語で「未来に化ける新素材」の略です。



親子で行った雑木の伐採作業